



令和6年9月2日
目黒区立駒場保育園 園長

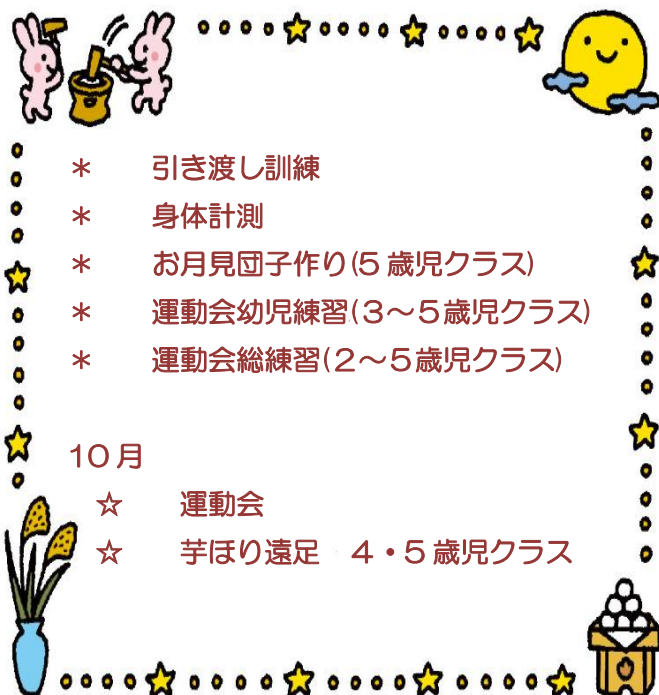
年々、夏の気温が高くなっている気がします。今年も体温越えの気温が続き、子どもたちの熱中症を心配しましたが、水分補給や体調に配慮しながら元気に過ごすことができました。7月中旬から聞こえ始めた蝉の声も8月には園庭の桜やヒマラヤ杉が蝉の宝庫となり、朝に夕に蝉時雨が降っていました。9月に入った今も「オーシーツクツク…」と夏の終わりを告げるかのようにツクツクボウシの鳴き声が響いています。

保育の様子を1階の階段横や各クラス前に写真で掲示しています。朝夕の送迎時、親子で写真を見ながら「こんなこともできるようになったの」「うん。できるんだよ」「すごいね」「楽しそうだね」「またやりたいな」「やれるといいね」などの会話が聞こえ、ほのぼのとゆったりした雰囲気伝わってきます。人は褒められることで自分の価値に気づくことができます。その気づきが勇気や自信に繋がります。褒めることは簡単なようですが、欠点を指摘することよりも難しいと言われます。子どもにはもちろん、大人同士もお互いを認め合い褒めることを積み重ね、より良いチームワーク作りに役立てていきたいと思えます。

幼児クラスでは久しぶりに会う友達に「おはよう」「今日一緒に遊ぼう」と声をかけ、そこから会話も弾み笑顔の花が咲いています。まだ片言の乳児クラスの子どもたちも保育士に「〇〇に行ったの？楽しかったね」と声をかけられると途端に笑顔になり、嬉しい気持ちを知らせてくれます。“声を聴いて心を知る”と言われるように、弾んだ声で楽しかった心の内が伝わってくるようです。

9月1日は防災の日です。園でも4日に引き渡し訓練を行いますので、是非ご協力をお願いいたします。災害はいつ起こるかわかりません。最近、いろいろな場所で地震が頻繁に起きていることもあり、日頃からご家族で避難について話し合ったり、備蓄品を確認しておけるとよいですね。

9月の予定



子どものつぶやき

～ みみ ～

セミの鳴き声が聞こえてくると
保育士「ミーンミーンだね」
子(耳に手を当てて)「みみ」
1歳児クラス

～ 給食を食べながら ～

保育士「きゅうり、シャキシャキするよ」
(鮭を食べながら)
子「これはシャケシャケするね」
2歳児クラス

今月は3・4・5歳児クラスの夏の遊びをお伝えします。

さくら組 「プール大好き」

プール遊びが始まった当初は、顔に水がかかることを怖がっていましたが、宝探しゲームなどで水しぶきをいっぱい浴びながら楽しむことで、少しずつ水に慣れていきました。そして、プールの底に手をつけて足を浮かせるワニ泳ぎを何回も繰り返すことで、体が浮くおもしろさも感じるようになりました。友達が水面に顔をつけられるようになると「自分も」と、チャレンジする姿があり、もぐっている友達を見ると、ワニ泳ぎをしながら何回も水面に顔をつけて練習する姿も見られました。練習することで、できなかったことができるようになり、うれしさを感じている子どもたちです。友達のように泳げるようになりたいと頑張る姿に心の成長を感じました。



すみれ組 「やってみよう」

水の中に潜ることが出来る子、顔に水がかかるのが苦手な子など、水に対しての抵抗が違うこともあり2グループに分かれて楽しんできました。プールが始まって数日が経った時、皆で一緒に入ることにしました。水に慣れている子が魚や人魚になりきり「ぐるぐる回って泳ぐ」「上を向いて泳ぐ」と様々な泳ぎ方を試して遊んでいると、その姿を見て「お水に入ってみる」と自分から水に顔をつけ始めました。それに気づいた周りの子からの「頑張れ」という声援に背中を押され、潜ることができる「できたね」と拍手をしていました。勇気を出しやってみたら出来たことで嬉しくて満足した表情でした。友達の姿に刺激を受け、出来ないことにチャレンジしようとしていたり、友達同士、出来たことを認め合う姿が見られました。



ひまわり組 「いかだ作り」

プールが始まって少し経った頃、数名の子どもたちから「前のひまわりさんが作った船（いかだ）作らないの？」と素朴な質問がありました。昨年のことを覚えていて密かに楽しみにしていたようです。そこで早速ひまわり組みんなに話し、全員一致でいかだ作りが始まりました。何を使ってどんな形にするかを話し合い、2Lのペットボトルを並べて組み立て、養生テープやガムテープで貼り合わせて、いかだの完成です。プールに浮かべると「お～！」と歓声が上がりました。一人ずつ順に乗っていくうちに徐々にテープが外れ、遂にバラバラになってしまいました。プール活動後、どうして壊れたのか、どうすれば壊れないかをもう1度話し合い「ボトルが1段だったから」「テープの貼り方が良くなかった」など様々な意見が出され、その意見を基に組み立て方や貼り方を工夫し、みんなで協力しながら作り直しました。そして待ちに待ったいかだ乗船の日、作り直したいかだは繰り返し乗っても、2人で乗っても壊れませんでした。「壊れなかったね」「楽しかったー」と大喜びの子どもたちでした。自分の考えを言い、友達の意見も聞き、同じ目的のためにどうすればいいのか考えて自分たちで協力しながら進めていく姿に年長児らしさを感じました。

